

比較家族史学会

会報 比較家族史 85

事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム内 比較家族史学会 ☎:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

Email:maf-jscfh@mynavi.jp 郵便振替 00130-4-25222(名義 比較家族史学会)

会費値上げのお知らせ

近年の物価上昇、会場費・印刷費等の諸経費の増加、および学会活動の充実化に伴い、現行の会費では運営が困難な状況となっております。つきましては、誠に恐縮ではございますが、来年度より会員種別および年会費を改定させていただくこととなりました。改定内容は以下のとおりです。

現行会費（2025 年度まで）	改定后会費（2026 年度より）
正会員：5,000 円	一般会員：8,000 円
院生会員：3,000 円	学生等会員（会費減額対象会員）：3,000 円
特別会員：3,000 円 ※	特別会員（70 歳以上の方）：5,000 円

※すでに特別会員の方は次年度以降も年会費 3,000 円、今後、70 歳以上の一般会員のうち、特別会員への変更を申し出た方は、年会費 5,000 円になります。

会員の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、学会の安定的な運営のため、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2025 年 比較家族史学会 第 76 回 秋季研究大会のご案内

【日程】2025 年 11 月 1 日（土）

【会場】オンライン（大会運営：熊本大学）

【参加費】無料

【申込方法】申し込みはこちらのフォームまたは学会 HP よりお願いいたします。

申し込み用フォーム：<https://forms.gle/2ZPpGfhedQiPexpB6>

申込締切：2025 年 10 月 26 日（日）

【プログラム】

総合司会 梅澤 彩（熊本大学）

10：00～10：10 会長挨拶 三成美保（追手門学院大学）

10：10～10：15 大会運営についてのお知らせ 梅澤彩（熊本大学）

10：15～12：10 自由報告 司会 磯部香（高知大学）

10：15～10：40 自由報告① 北野嵩大（東京大学大学院・博士後期課程）

「伝統と近代をめぐる家族論の日韓比較：「近代家族」と「家族主義」の議論に着目して」

10：45～11：10 自由報告② 増田莉子（神戸大学大学院・博士後期課程）

張迎霞（神戸大学大学院・博士後期課程）

「中国における「ケア」概念の整理：日本国内の文献検討を通して」

11：15～11：40 自由報告③ 鄭怡（京都大学大学院・博士期課程）

「妻の「陪読」経験と夫の応答：家族内性別役割の再編」

11：45～12：10 自由報告④ 連輝（神戸大学大学院・博士後期課程）

「中国县域社会における若年女性の結婚をめぐる語り：浙江省温州市 A 県の調査をもとに」

12：10～13：00 休憩

13：00～16：20 ミニシンポジウム「家族研究の実践を読む」

司会：中島満大（明治大学）

13：00～13：05 企画趣旨説明 中島満大（明治大学）

13：05～13：25 西谷正浩（福岡大学）

「史料から家族を読む：日本中世の民衆家族」

13：30～13：50 白石大輝（桐蔭横浜大学）

「法律から家族を見る：「家族制度」と「家制度」について」

13：55～14：15 池岡義孝（早稲田大学）

「社会調査から家族を読む」

14：15～14：25 休憩

14：25～14：45 平安名萌恵（大阪公立大学）

「沖縄的共同体の「解体」と「再生産」をめぐる生活史：シスターフッド・トートロー・公的支援」

14：50～15：10 橋本嘉代（共立女子大学）

「メディアから家族を読む」

15：10～15：25 休憩

15 : 25～15:40 コメンテーター 米村千代（千葉大学）

15 : 40～16 : 20 討論

16 : 20～16 : 30 閉会挨拶 野辺陽子（日本女子大学）

16 : 40～17 : 00 総会

※学会終了後、臨時総会を開催いたします。詳細は比較家族史学会のメーリングリストにてお知らせいたします。10月5日（日）までにメールが届かない場合には、担当の野辺会員（nobey★fc.jwu.ac.jp（★を@に替えて送信してください）までご連絡ください。

【大会運営委員会】

梅澤彩（熊本大学、大会運営委員長）、中島満大（明治大学）、草野舞（尚絅大学）、李璟媛（岡山大学）、土屋敦（関西大学）、宇野文重（尚絅大学）

委員会報告

【庶務委員会】

（1）会員メーリングリストについて

イベント紹介など、皆さんに届けたいことがありましたら、庶務委員までお知らせください（田中 tanaka057★toyo.jp（★を@に替えて送信してください））。

（2）会員情報の変更

会員情報に変更がある場合は、学会事務局までご連絡ください。所属・住所などの変更のほか、10年以上継続して一般会員であった方で、70歳以上の方は50,000円を、75歳以上の方は25,000円を納入することにより、終身会員とし、以後の会費の納入を免除しますので、終身会員を希望する場合も学会事務局（maf-jscfh@mynavi.jp）までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、会報をはじめ、種々の案内はMLでお送りしています。メールアドレスを変更された場合にも、学会事務局までご連絡ください。

（3）会費納入

会費未納の方には再度、振込用紙を郵送いたします。本学会は、学会費によって維持さ

れています。学会費が未納の会員については、学会費を納入していただきますようお願い申し上げます。

【企画委員会】

(1) 研究大会の日程について

① 2025 年秋季大会※詳細はプログラム参照

【会場・開催方法】熊本大学・オンラインでの開催

【日程】2025 年 11 月 1 日（土）

【運営委員会】梅澤彩（熊本大学、大会運営委員長ほか）

【プログラム】自由報告、ミニシンポジウム「家族研究の実践を読む」

②2026 年度春季大会

【会場】追手門学院大学

【日程】2026 年 6 月 21 日（土）、22 日（日）

【運営委員会】三成美保（追手門学院大学・大会運営委員長、シンポジウム企画担当）ほか。

【プログラム】自由報告、シンポジウム「LGBT と家族」（三成美保）

(2) 出版関係

『シリーズ＜家族のかたち＞を考える』（法律文化社）について 2025 年 5 月に『第 1 巻 ＜産みの親＞と＜育ての親＞』を刊行。現在『第 3 巻 系図と継承』原稿執筆および編集集中、『第 4 巻 家族と暴力』についても原稿執筆中、第 4 巻については 2026 年 9 月末刊行予定。

【編集委員会】

現在、『比較家族史研究第 40 号』を編集集中です（2026 年 3 月発行予定）。昨年（2024 年）の秋季研究大会（東北学院大学）でのシンポジウム「日本における高学歴移民女性のケアとケアワーク」（賽漢卓娜会員ほか）を基にした論考を特集として掲載予定です。同シンポジウムに関連して、賽漢卓娜編著『高学歴中国人移民女性のライフコース』（明石書店、2025 年 3 月）が刊行されているため、これをさらに深め発展させた内容のものとすることが期待されます。論文等の投稿は近年少なくなりましたが、今期は、6 つの投稿がありました（査読中）。書評・文献紹介も 8～9 作品を予定しています。

理事会議事抄録

2024 年 6 月 14 日（土）にオンラインで開催された理事会の議事録抄録を掲載します。

1. 庶務委員会

- （1）会員情報および会計について報告がなされた。
- （2）会費の値上げについて検討がなされた。

2. 編集委員会

- （1）『比較家族史研究』第 39 号（2025 年 3 月刊行）の刊行（400 部）について報告がなされた。
- （2）『比較家族史研究』第 40 号（2026 年 3 月刊行予定）の編集について進捗状況が報告された。

3. 企画委員会

- （1）2025 年度秋季研究大会について報告がなされた。
- （2）法律文化社シリーズ書籍の進捗状況について報告がなされた。